

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 別福会	代表者	高司 信太郎	法人・事業所の特徴	別府市の南端にあり、海、山も近く自然豊かな環境下、ご利用者様に「寄り添い」ながら自立支援と地域連携を進めながら「楽しい時」を過ごしていただく努力をしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 両郡橋事業所 福祉の森	管理者	貞山 智絵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	2 人	人	人	1 人	人	2 人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	継続して密な情報共有とスキルアップに取り組む。	密な情報共有、スキルアップに努めることが出来たが、スタッフ個人個人の把握や技術力に差が有る。	質問の意味をどうとらえたらいいのかわかりにくい。	密な情報共有、スキルアップへの取り組みを継続しケアの統一を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策を継続しつつ、事業所を地域に開く機会をもうけ立ち寄りやすい事業所を目指す。	事業所を地域に開く機会を設けることが出来なかった。	感染予防で事業所内をみる機会がなくなったので判断が出来ない。見学の機会があったほうが良い。	継続して事業所を地域に開く機会をもうけ立ち寄りやすい事業所を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	継続して可能な限り行事等積極的に参加し、地域との関係性を深められるよう努める。	交通安全、花の植え替え、盆踊り等に参加できた。	参加してもらうことで人数が増え盆踊りがにぎやかになった。	積極的に地域の行事に参加し、関係性を深められるよう努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	継続して必要に応じて地域の相談等に民生委員、児童委員等と協力して対応に取り組む。	機会がなかった。	特になし	必要が生じた際、地域の相談等に民生委員、児童委員等と協力して対応に取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	継続して地域に理解していただける様に情報を発信しつつ、会議の場を相談のしやすい場になるよう努める。	会議の場では地域に情報の発信が行えている。	特になし	会議の場を相談のしやすい場になるよう努めつつ、可能な限り地域に情報を発信していく。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練や救急救命等、地域と一緒に防災・災害にそなえる。	避難訓練等一緒に行える機会がなかった。	防災計画を事前に教えてほしい。	避難訓練、防災計画等地域と一緒に災害や防災に備える。